内外タイムス THE NAIGAI TIMES
1月8日 土曜日 7日発行
昭和30年(西暦1955年)
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話(代表)京橋(56)8646
第2970号

4版

天気予報
今晩 北の風、冷えこむ
明日 北の風晴、今晩明日と北部山岳地帯はにわか雪

1月8日・土 旧12月14日
月齢 13.8
日出 6.51
日入 4.44
月出 前 4.30
月入 後 6.18
満潮 前 5.55 後 4.36
干潮 前 11.05 後 11.35
(大潮)

共同で『統一決議』

大会提出議案を決定

両社政策小委員会

両社大会準備小委員会—右から曽禰、河野、亀田、伊藤、岡田(うしろ向き)の諸氏

左右両派社会党は七日午前十時半から衆院副議長室に伊藤、岡田、亀田(左社)河野、曽禰(右社)の各氏が出席して政策小委員会を開き、十八日に開かれる両社党大会の提出議案について協議した、この結果委員会としては

一、統一に関する方針
一、統一の共同決議

一、大会宣言の三議案を提出するとともに、地方選挙を含む総選挙対策を討議することに意見が一致した

統一に関する方針はこれまで両社が統一問題に対してとってきた態度、考え方をそれぞれの立場から表明するもので、統一の共同決議は統一の決意と統一実現の手続きを両社一本の決議で行うものである

大会宣言は統一総選挙に臨む党の態度を表明するもので、できれば両社の一致したものにしたい。同日の会合で右社から提出された統一の共同決議の内容については来る十日に総選挙委員会を開き討議したうえ、十二日に左社、十四日右社の中執委を開いて承認を求める

なお党大会で選出する合同準備委員の構成については委員長、書記長、全中執委員をこれに充て、両社の連絡委員にそれぞれ十名程度を挙げるとの右社の提案については左社もほぼ同意しているが、十四日の統一合同委員会で正式に決定する

"国産品愛用"を提唱

閣議決定 まず官庁用衣類から

政府は七日の閣議で、国産品愛用の見地から官庁用などの繊維類はこんご国産品を使用し、その実現について各省事務次官会議でさらに事務的検討を進めたのち全国的に国産品愛用の運動を展開することになった

これまで警察、防衛、国鉄、郵政など各官公庁職員の衣類は一部に輸入繊維を使っている事実があるので、この日の閣議で石橋通産、千葉労働、大村防衛各大臣から発言をもとめ、国産品奨励の意味からこれら官公庁用の繊維類調達はこんご国産品の化繊混紡布地に全部切り換えることを提唱、閣議で申し合せたものである、政府としてはこの国産品切り換えによって外貨の節約と化学繊維工業の企業安定の二点を狙いとしているが、さらに繊維類だけに限らず官庁用物品をすべて国内資源で賄うことも考慮しており、これによって国産品愛用の一大国民運動を展開する方針である

貸与兵器の細目取決め決定

政府はMSA貸与兵器の細目取り決めを七日の閣議で決定、早急に米側と話し合い日米両国政府の間で調印する

藤山氏を発令 経済審議会委員

政府は七日の閣議で経済審議会委員高碕(?)庁長官就任に伴(?)商会頭藤山愛一郎氏を(?)とを決め同日発令した

英佛、『教書』を歓迎

【ロンドン六日発ロイター—共同】ロンドンの外交筋は六日、アイゼンハワー米大統領が一般教書の中で原子兵器をめぐる世界の行詰り状態を認めたことはチャーチル英首相の考え方を反映するものとして歓迎している

【パリ六日発ロイター—共同】フランスでは一般教書は特に力強いものだとは考えられていないが、少くとも国際政局の面での挑発を避けるものとみられている

アイゼンハワー大統領は第八十四米議会に恒例の年頭教書を送ったが、写真は拍手に迎えられ議場に臨む大統領 (AP=共同電送)

ア大統領 米華条約批准要請

【ワシントン六日発UP—共同】アイゼンハワー米大統領は六日、昨年十二月米国・国府間で調印された米華相互防衛条約を上院に送りその批准を要請した

インドなど十カ國と双務協定の締結

米、原子力平和利用で勧告か

【ワシントン六日発UP—共同】米議会原子力委員会のザント委員が六日明らかにしたところによれば同委員会は近く原子力平和利用にかんする双務協定を締ぶためインドなど十ヵ国と交渉を開始するよう政府に勧告するもようである、この十ヵ国の内訳はインド、パキスタン、スペイン、トルコ、ギリシャ、オーストラリア、ニュージーランド、イラン、タイ、フィリピンである

ジグザグコース

原子力の実用化

この新春の話題は原子力の平和利用問題にさらわれた形だが、その原子力を精密な計算から生み出したのが電子頭脳である。電子頭脳とは人間の作った電子計算装置のことで、ことしはこの人工頭脳がどこまで高度なものになるかが大きな興味になっている。

科学者が百年かかって計算できるかどうかという原子爆発の計算を、アッという間にやってのけた電子頭脳があってこそ原爆が生れた。しかし、このように人間を殺すためだけに作られたものでは決してない。それどころか、今後はみんなが楽しく平和に暮せるために"脳味噌"を働かせなければなるまい。アメリカではもう人工頭脳の実用化時代に入っているそうで、ある航空会社の案内所員数百名が、座席指定その他を立ちどころにやってのける"機械の頭脳"の出現で、お払い箱になったほどである。しかも四十六年間王座を占めてきた真空管よりはるかに高性能の、トランジスターという電気通信界の革命児が生れてからは、電子頭脳も数十分の一の手軽さになったから、マッチ箱大のラジオをポケットに入れて散歩とシャレ込むこともできるそうだし、ピース箱ほどの補聴器の出現で耳の遠い人も人前でヒガミを起すこともなくなりつつあるそうである。

平和利用の価値はこのように無限の楽しさを持っている。フランケンシュタインという映画は、人造人間に凶悪犯人の脳味噌を移植して暴れさせる話だったが、折角の人工頭脳、ゆめゆめ"人間殺し"の"思想"などを吹込んではなるまい。(晶)

吉田前首相と会談

林氏 総選挙出馬問題で

自由党の林譲治氏は(?)前首相の(?)地元高知県支部が吉田前首相の次期総選挙への立候補を強く要請している旨をつたえ、これに対する吉田前首相の意向をたずね(?)

アジア各地の流行

保守的な娘の服装

日本人音楽家も大モテ

南ヴェトナム

○…ヴェトナムの婦人が服装について保守的なのは全く驚くほどで、小パリといわれるサイゴンの繁華街カチナ通りを散歩するのを好むが、いいあわせたように純白のシュスのヴェトナム服を着ている、上衣は高いカラーに長いそで、肩から胸にかけてぴったりと身体にあわせているが、それから下はゆるやかに広がって長い、ズボンも胴あたりでしめているがひきずるように長くかつゆったりとしている、また夜会服はしじゅう入りのドンス地だからこれはほとんどボップド・ヘアーが金持ち階級でないとちょっと手が出まい

○…ヴェトナム人の結髪はこれはまた極端に保守的である、娘は髪を長くのばしているが、既婚夫人はそれに黒布をかぶせて頭上に円をえがいてまきつけている、誰か関係者が死ぬとこの黒布を白布にする、この結髪はあまりにも保守的であると見えてサイゴンの娘さんはほとんどボップド・ヘアーが多いようで、パーマ屋はなかなかの繁昌である

○…ヴェトナム人は音楽がすきでまたその才能もあるとされている、しかしサイゴンではコンサートは非常に少ない、それにもかかわらず誰か外国人の芸術家が来て演奏会をやればいつでも満員である、現に記者がサイゴン滞在中、フランスの奨学基金でパリに留学する三人の若い日本人音楽家が演奏した時も満員であった、ヴェトナムのあらゆる面にフランス文化が強い影響を与えたことはさけられない現象で、フランスでベストセラーであったものはサイゴンでもやはりベストセラーである、ジャー・ブーフレフィットの『大使館の最後』かたいものではジャン・サントニーの『失われた平和の歴史』などはヴェトナム南北のどの書店の店頭にもよく並べられている

○…映画はいずこも同じアメリカものの全盛、しかし何といってもインドシナはフランス軍人の数が多いからフランス映画も相当来ていることはいる、しかし記者がハノイのフランス軍人相手のある映画館で見たパリを背景にした映画はハリウッド製であった、コスト安の関係からか日本映画も時々輸入されているようでサイゴンとハイフォンではその広告が出ているのを新聞でみたが、ハノイではあるヴェトナム青年から『羅生門』はなかなかの芸術作品で日本の映画を見なおしたとほめられた

【写真はサイゴンの市内】(バンコック発=共同)

総選挙戦の展望

東京、関東地区

断然つよい法相

東京第四区・定員三名

前回最高点の菊川忠雄氏(右社)が洞爺丸事件で死去したので君子夫人が代って立つが、多少の同情票はあっても当選圏内に入るかどうかは危ぶまれている、今回の最高点は花村法相がもっぱらうわささされており、ついで引揚問題や日中貿易で活躍している帆足計氏(左社現)が有力である、残る一名を菊川君子(右社新)高木章(自元)岡崎英城(民新)本領信治郎(民元)風早八十二(共元)の五氏で争うことになろう

独占ねらう民主

第五区・定員四名

民主党は鈴木仙八、中村梅吉、寺田武雄、浜野清吾の四氏を公認し、全員当選を狙っているが、左社の神近市子、右社の河野密両氏は当確、従って民主党四候補のうち二名の落選は免れない、鈴木氏は前回最高点であり、民主党の代議士会長として売り出しており、中村氏は地元の受けもよいのでこの両氏は当確組である、ボーダーライン組としてはノンキ節の石田一松氏がいるが、石田氏は民主党入りをせず無所属で出馬する模様、このほか神山茂夫氏の地盤を受けつぐ青柳盛男(共新)渡辺年之助(右社新)氏が続き相当の激戦だが、加藤隆太郎氏(自元)は出馬しない模様なので自由党はまったく手も足も出ない形である

強豪めじろ押し

第六区・定員五名

四区と同じく前回最高点の熊本虎三氏が死去したため空席を狙って有力候補が目白押しに立候補するが、山口シヅエ(右社現)島村一郎(民現)島上善五郎(左社現)の現役三名はまず当確、残る二名を新井京太(民元)天野公義(自現)真鍋儀十(民元)孝押しにならび東京随一の激戦地である、当確組は中村高一(右社現)並木芳雄(民現)山花秀雄(左社現)の三名だけ、残る二名を福田篤泰(自現)津雲国利(自現)栗山長次郎(民前)大木操(民新)松谷天光光(民元)の各氏で争う

一時出馬をウワサされた現都知事の安井誠一郎氏は今回は出馬せず再び都知事に立候補する模様、このほか国民党々首畑敏秋(新)石井あや子(労新)安藤博(民新)松岡富治(民新)富沢仁(自新)北条秀一(右社新)大野三留(共新)古賀光豊(無新)氏らも出馬をうわささされているが、民主対自由の激戦ととなろう

自民激しく対決

第七区・定員五名

野真好(右社新)(?)らで争うわけだが、(?)氏が有力視されており、天野、真鍋両氏の(?)能性が強い

正月が過ぎた雑誌の馬鹿らしさ　横浜 渡邊夢生
ボーナスへ女房と女将別な顔　武蔵野 秋扇
盛り上る原爆二十万署名　神奈川 北村やなぎ

笑い繪文化

粋人酔筆

石原巌徹

ある処で珍しい日本の笑い絵を拝見したが、その絵の主の奉公人が、数十本の扇子を骨組みで……(?)が、それは精巧(?)ゆるやかな筆で描かれた見事なものであった。手早く見ていくうちに、ふと僕の頭に浮んだのは、この人はもしかしたら本物をたくさん持っているのではないかということである。

そこから僕のイメージは、かつて見た中国の珍奇な『笑い絵』におよんでいった。それは扇子仕立てのものであったが、構図は……(?)、容貌魁偉な古装美人の図で……(?)『白……』にとってあって……(?)イセツ……(?)さらに僕……(?)者とな……(?)のその……(?)、さだ……(?)うことと……(?)ろ珍奇なものがあ

『笑い絵』といえば日本にもいろいろ珍奇な場面を構想したロマンチックなものがある。丑の刻詣りの女を襲ったのや、日清戦争に出征の船の上で軍人が看護婦をおさえつけたのなど、見聞の狭い僕の記憶にのこっている傑作がある。中国のものでは、右を筆頭に、蒙古の草原で馬に乗りながらの実行の図、また昔の皇帝が後宮の美女を御するの図で、侍女が三人ばかりよってたかって皇帝の尻を前方へ押しているのがあった。

しかし構想はともかく、中国のものは『白髪三千丈』などというように文字の形容は大げさなくせに、笑い絵になるとリアリズムに忠実すぎて、日本のものを見た眼にははなはだくいたりない。これは欧米のものもそのとおりで、要所をクローズアップすることにより迫真感を出すという手法は、世界にほこるべき日本だけの特技である。日本の浮世絵が欧米で珍重されるのは、そのへんに有力な理由があると見るのは僕のひが目だろうか。

この独特の手法を知らなかったある欧州人が、日本人の旅行者を招んで手厚くもてなした後、今生のお願いだといって、一物の拝見を申し入れ、ふしぎに思って見せてやると『なあんだ、ちっとも大きくはないじゃないか』と失望落胆したという有名な笑話は、おそらく作り話であろう。

日本だけのものとして笑い絵のほかにもう一つ、世界にほこるべきこの方面の傑作があることを、最近僕は偶然の機会から思いついた、それは片手だけで示す表現法である。ツマリ、人さし指と中指との間に親指の頭をはさんでにぎるあの形だ。これほど簡にして要を得た、しかも芸術味ゆたかな表現法はないのだが、世界中どの民族にもこれは無い。このの形をすることはあるが全然別の信号になっている)中国をはじめ他の民族は、それを意味する場合、両手を使って、まず左手の親指と他の四本の指で穴の形を作り、右手の人さし指を、その穴につっこんで、やはり、リアリズムに忠実に表現する。これではなはだ原始的かつ非文化的で、味というものが全然無い。日本のあの片手でやる表現法は文化的に非常に進んだものである、というのが僕の学説?なんだがどうだろう。

とにかく僕はこのような絶対平和的なものについて、日本には他民族のくわだておよばない優秀なものがあるということを、大いにほこってよいと思っているのである。

市況

利食に伸び悩む

(?)のあと記録的大商盛のあとまた日証金融(?)だけにさすがに買気は一服模様となり市況は概して伸び悩みの状態となった、特に小口の踏みに道日歩ほとんど二十五円、繊維株は金ヘン、一巡買われたもの一服の振合となり金ヘン株の一部が内外から十円がらみ地合の好調から深押し全般は底固い商状で(?)

東京株式仲値
□新株落△配当落
(7日前場終値)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		日本曹	64	三菱化	121	カボン	54
東海上	279	旭電化	80	旭化成	286	三井物	166
郵船	—	三菱造	78	山陽パ	86	第一物	103
新電工	—	三菱重	70	日本パ	84	白木屋	—
日清紡	270	石川重	93	国策パ	84	高島屋	82
味の素	—	梅工	132	東北パ	95	日活	90
三越	303	東洋ベ	113	大東紡	78	松竹	205
平和不	390	三井造	104	商船	61	東宝	1345
三井金	98	日立造	49	三井船	62	大映	188
三菱鉱	88	浦賀	51	飯野海	54	日清粉	152
日鋼	70	日平	37	西武	336	日麦酒	175
住友金	88	古河電	79	藤田興	210	朝麦酒	194
三菱鋼	51	東芝	77	東京ガ	84	キリン	206
古河鉱	69	三菱電	99	東電	438	宝酒造	87
同和鉱	90	日立製	78	日銀	2380	野田醤	346
住友炭	69	小松製	73	東銀	76	日本粉	129
三井山	63	日本光	172	三井銀	70	昭和産	113
北海炭	62	東京光	50	富士銀	87	東洋製	84
東邦亜	63	キヤノ	170	日興金	68	合同酒	—
日石	88	日軽金	172	大正海	103	三楽酒	81
帝石	73	東洋紡	137	住友海	122	台糖	193
昭和石	86	鐘紡	138	安田火	128	明糖	103
大協石	163	大日紡	86	千代田	90	日水産	79
東燃	122	日東紡	68	鋼管	70	塩水港	151
三菱石	95	片倉	46	日製鋼	69	大阪糖	148
日東化	74	富士紡	104	八幡鉄	66	森永	251
日産化	76	呉羽紡	89	富士鉄	57	明菓	156
三井化	95	東邦レ	99	神戸鋼	67	王子紙	184
東合成	95	帝didn't	69	日特鋼	136	十条紙	205
信越化	76	中織	60	日金鋼	51	本州紙	91
昭和電	112	帝人	125	日セメ	145	三菱紙	96
カバイ	57	東洋レ	155	小野田	86	北越紙	54
東高圧	104	三菱レ	119	磐城セ	276	三井不	825
昭電工	75	食レ	74	横浜ゴ	192	三菱地	490
				旭硝子	148	三井倉	108
				富士写	177	渋沢倉	135
				小西六	103	東洋埠	215

芸能と演劇

▼第二面 ニューストーリー・日本に現われたGガール……
▼第三面 ……
▼第四面 ……
▼第五面 ……

浅草の鬼 (43)

濱本浩 作　栗林正幸 画

ヘリオトロープ (五)

『ただごとじゃないな』
凶と出た籤占いの文句などは、突嗟に忘れてしまった、梧郎は、驀店のテントに身を寄せて、駈けてくる女達を待ちうけた。
だが、イタチのような女達は、先頭の手の届きそうな所まで来て、先頭から次々に、常夜燈の灯影も微かな、淡島明神の境内へ、吸われるように消えて行った。
炎上した観音堂とは、道一筋距てたばかりで、業火を免れた淡島堂である。
昭和二十六年の八月、当時の東京都議会が、新憲法の精神に従い、過去七十八年間も、都の公園課が建設し、管理して来た浅草公園を、元の地主の浅草寺に、返還するまでは、この公園にも、四つの池が、それぞれの風致を添えていたものだ。
第一は、真っ先に埋められた、六区興行街寄りの大池。(地元では、この池をひょうたん池と呼んだのは間違いです。浅草寺の土地台帳でお調べ下さい)
第二は、大池に続いて姿を消した、花屋敷前の瓢箪池。(これが正真正銘のひょうたん池)
第三は、化け物のような山椒魚が棲んでいるという、伝法院の心字池。(小堀遠州作と伝えられています)
第四は、いちばん小さくて、目立たない、淡島明神の御手洗池。
(昭和の初期までは、奥山を横断した九十九川の細流で、ひょうたん池とつながっていたものだ)
小さくても、子供達に、いちばん馴染みの深かったのは、この池だ。百年もの間、放生した亀やスッポンが、うようよと棲んでいて、子供達の投げる餌を待っていたからだ。
その亀もスッポンも、戦争の後に、集団した浮浪児に捕り尽された後に、折柄埋立工事中の六池から三尺余りの雷魚七尾、バケルくらいのスッポン三匹、真鯉ほどの大鮒十七尾を、工事場の人足が運んで来て、放生したのに、昨今その姿を見る者がいない。
今では、伝説の街娼となった土手のお金から、東愛の浪さん、乞食のお才にいたるまで、エンコのヒッパリとは、縁のある淡島さまである。その流れを汲むジキパンが出没したところで、今更罰の当るものでもなかろう。昨今は、専ら年増のエプロン組が、昼となく夜となく網を張っている。
三世紀を経た石橋を、構わず渡ると、見付けの燈明が本堂だった。池に沿うて右に回ると、堂裏の植込みがある。
『びっくりさすじゃないか。六区ゴヤの色男だよ』
此処ばかりは、街燈の照り返しも届かぬ、闇溜りから、年増女のかさかさ声が、それでも、ほっとしたように聞こえて来た。他にも四、五人の同類が潜んでいる気配であった。
『はッはッはッ』
忍び寄った梧郎は、反りかえって、濃い闇に、笑いかけた。すると、別の声が、
『ちょいと、色男』
そのあたりに、巡査か私服が、張り込んでいないか、見ておくれと、その仲間の隠語を使って、呼びかけた。
『なァんだ、カリコミか?』
梧郎は、がッかりしながら、明るい広場に踏み出したが、それらしい人物は見えなかった。
が、とたんに、ひとごとではなく、お富の安否が気になって、小走りに、お富が立っていた筈の病院裏へ足を向けた。

272年ぶり（お七・吉三）りの再会

夢枕に振袖お七
結ばれた"比翼塚"建立

アプレ娘の元祖―八百屋お七が鈴ヶ森刑場で火あぶりになってから二百七十二年、吉川英治、高橋誠一郎、本山荻舟氏らの手で恋しい吉さんとの比翼塚を建てる運動が進められ、近く準備会が開かれる運びとなった、しかし、これまでバラバラだったこの二人を一緒にさせるかげにはお寺同士の対立もあり、いろいろ恋の路のせまさが障害となっていた、はたして二百七十二年ぶりでお七が吉さんと一緒になれるかどうか、関係者一同、お七以上にやきもきしている

八百屋お七が火をつけた
お小姓吉三に逢いたさに
われとわが家に火をつけた
あれは大事な気持です
忘れてならない気持です
（堀口　大学）

〇…お七・吉三の比翼塚を建てようと計画を練っている人たちは、吉三の眠る目黒行人坂の大円寺＝下目黒一の一五〇＝住職・福田ジツエン（実行）師、お七の眠る円乗寺＝文京区指ヶ谷町一一八＝住職・市原孝寿師、江戸文化研究いざよひ会を主宰する長唄の杵屋宇太蔵師、責め絵の伊藤晴雨画伯の四人を中心に、吉川英治、広津和郎、河竹繁俊、本山荻舟、神崎清、岩佐東一郎、中村芝鶴、渥見清太郎、伊志井寛、村田嘉久子の諸氏や高橋誠一郎氏などが熱心に支持し、一月中にこの第一回準備委員会が開かれることになった

江戸恋愛史をはかなく彩どった二人の比翼塚建立を最初に考えた人は大円寺の福田実行師だった―戦争前の話だ、或る夜同師の夢枕に立ったお七が、吉三さんと別れ別れになっているのは寂しい、一緒にしてくれないかと、あでやかな大振袖に高島田、ほんのりと薄化粧した可憐な姿で手を合わせて頼んだ、同師の思いが夢に現れたのであろうが、これを芸術院々長の高橋誠一郎氏に話したところ、一日も早く建立してやりたいと高橋氏も賛成したので早速お七の墓のある円乗寺の先代住職を訪ねて比翼塚建立を相談した

實現に20年の歳月
かげに幾多著名人の獻身的努力

〇…もちろん一も二もなく同意するものと思ったところ話は変なところからコジれて『あなたの方からそんな申入れを受ける必要はない、お七・吉三の本家はこちらだ、建てるのならこっちで建てる』とガンコな挨拶を受けたため物別れとなってしまい、機会があったら何とか円乗寺の了解を得て実現したいと考えているうちに戦争となり、また同師は比叡山延暦寺の役僧を兼ねているため月に七、八日しか東京にいない関係などでそのまま廿年近くの歳月が流れたたまたま昨年十一月、いざよひ会が催した"歌舞伎パトロール"で大円寺を訪ねた杵屋宇太蔵師がこの話を聞き『ぜひ実現したい、お七じゃないが火つけ役になって二人の仲人を勤めましょう』と持前の江戸ッ子気質で引受け翌日、福田師と円乗寺へ赴いたところが先代住職は戦後死んで、応待に出たのは市原孝寿師だった、二人の熱心な説得で『当方にもいろいろ事情はあるが比翼塚は結構なことです、努力いたしましょう』という返事を得て建立の話がまとまり、これを機会にお七の命日の三月廿九日を中心に芸能祭、講演会、お七・吉三展等関係者全員がチョンマゲをつけて破天荒な行列をやろうなどという計画もまとまり『正月そうそうには具体的な準備委員会を開こう』と話が進んだもの

〇…宇太蔵師がこの話をいざよひ会々員や知人に話したところ吉川英治、本山荻舟両氏はじめ前記の人々も『そりゃア、いい話だ』と乗気を示し、ここに廿年ぶりで具体化の第一歩を踏みだし、これが実現すれば東都名所が一つ増えることになるわけだが、この敷地をどこにするかが問題で、円乗寺先代からの確執もあり準備委員会でもこの点で一揉めするものと予想されている

お七火あぶりの図

お七の墓㊨が昔のもの㊧は最近新たに建てられた墓（円乗寺）

百万回 お七の菩提弔う

〇…さてお七・吉三の実説は？吉三郎は伊勢藤堂藩の寵臣の伜で勉強のため駒込の円林寺（大円寺ともいう、諸説あり）に預けられそこで焼出されてきたお七と知った、お七は寛文六年（一六六六年）に生れ吉三逢いたさに放火したためへ富士の煙りと諸共に…あわれ鈴ヶ森で刑死した、吉三郎はこれを悲しみ出家、西雲と名乗り諸国行脚し江戸の四方へ六地蔵を建てたり、目黒の不動堂から浅草の観音堂まで往復十里の道を百万回も通ったりして、お七の菩提を弔ったのち元文五年（一七四〇年）十月入寂した、西雲が夢でお七に頼まれて刻んだと伝えられる"お七観音像"は現在大円寺にある

吉三の墓（大円寺）

哀恋邪恋

情死秘話

さらば青春よ！

第十四話

青春三人心中（三）

邑井　玄吉
土端　一美　画

この夜の騒ぎは、夫人のとりなしでどうにかおさまり、その後政二は神妙に勉強しているようであったが、その実政二の心は、惑乱と懊悩に打ちのめされていた。

二人の看護婦―波子と富江も山中医師からきびしく叱責され危うく解雇されるところであったが、これも世間態をはゞかる夫人のとりなしで事なきを得たが、その直後政二は富江から、

『政二さん、あたしもう生きていられないわ、身体の調子が変なの、妊娠したらしいのよ』

と、打ち明けられたからだった。その上受験勉強にも身が入らず、全く合格の自信を失っていた矢先だったから、政二の受けたショックは深刻で、絶望的な自暴自棄の念にかりたてられた彼は、ついに死を決意したものの、薄志弱行型の彼は一人で死ぬ気力がないところから、富江と波子を死への道連れに選んだのである。

五月十二日、この日山中医院では夫人のプランで矢板町の長峰公園につつじ見物を催すことになり政二も二人の看護婦も同行したが、その夜七時頃帰ってくると、政二は伯母に参考書を買うのだからと百五十円の金を無心した。まさかこの金が可愛い甥たちの心中行の旅費になるとは知らず伯母はこゝろよく貸してくれた。

長峰公園に行く途中、政二は今夜家出するからとひそかにしせ、一緒に家を出ると感付かれるおそれがあるから、三人バラバラに西那須野駅に十一時ごろ落ちあうことにした。

三人とも和服で、政二がつとめて快活をよそおい、冗談口を叩いて二人を笑わしていたので、誰からも怪しまれることなく、午前零時十分発の東北本線下り列車に乗りこむことが出来た。そして、午前一時九分白河駅に降りたった三人は、駅前でしょんぼり客待ちしている一台の人力車を見付け、旅館までの案内を頼んだが、車夫の竹吉老人は、さすが商売柄三人の態度に不審を抱き、家出人や心中者などに比較的厳重な監視をする長栄館に案内した。

この三人心中事件後長栄館の女将は、

『竹吉さんから、どうも怪しいからと注意されていましたし、夜中シクシク泣き声がきこえたので、もしやとは思いましたが、何しろ三人でしょう、三人心中なんてそんな馬鹿なことがと思ってそのまま寝てしまったのでしたが…』

と、発見直後の模様を語ったが、翌朝十時になっても起き出した様子がないので、女将が起しに行って見ると、三つしかれた真ン中の床に政二と波子が抱きあったまゝ死んでおり、左の床に富江が半裸に近いしどけない姿で悶死していた。

枕もとには、三人がのんだのだろう劇薬のあまりが二百㏄瓶に半分ほどのこっており、その傍に、使いのこしたらしい桜紙に鉛筆で、

『青春！なんぞその空虚なる！青春なんぞその無意味なる！その青春にアデュウする三人のこの満ち足りた姿を！』

と、政二が書いたらしく乱暴な文字でしたためられてあり、またハンカチには、女文字で、

『お願い出来ますことなら、私たち三人をいっしょに埋めて下さい』

と、これも鉛筆でたどたどしく記されてあった。

（この項終り）

紅燈手帖

正月の花街

コナヘンが上客
客は時代のバロメーター

今年の正月の花柳界は、例年にない不景気のようであった。

新橋も、赤坂も、柳橋も、まあ名の通った家には、贔屓の客もあって、こゝ二、三日は、芸者の出入りはあるが、客の切り上げも早いし、以前のような馬鹿っ騒ぎはない。

今年は景気も立直るだろうというのが、皆の一致した希望的観測であるが、二月という霜枯れの季節をひかえ、また、選挙があると、余計めっきりひまになるという、その総選挙を間近かにむかえ、まあ、桜のほころびる三月頃までは、花柳界は閑古鳥の鳴くことであろう。

しかし、こゝで、いくらか遊ぼうという客には、つまり花柳界でモテル絶好のシーズンということになる。昔から、クリスマス頃のキャバレーや、浮かれ時季の花柳界を外して遊ぶのが、通人の上手な遊び方とされている。つまり、花柳界の一番ひまな季節をねらって遊べば、いそがしい時期の半分の費用で、倍のサービスがうけられるというものである。

しかし、いくら不景気といっても、世の中は広いもので、又、現在殷賑を誇っている産業もある。そういうグループが、今の花柳界の花形で、常に花柳界というものは、時の権者にへつらいと媚を売るものである。

では、どういう連中が遊んでいるかというと、今はコナヘン（粉偏）が筆頭だそうである。セメント、肥料、砂糖、製粉、味の素などという会社、それから石油、ビールなどが、目下の花柳界の上客、糸へんの紙や、紡績などもメーカーの方は依然賑くはなく、金へんも、ようやく鉄鋼、造船ぐらいから息を吹きかへしてきたようである。まったく、一流地の花柳界のお客の様子をみていると、さながら、その時代の景気のバロメーターをみるようだ

紋付きのねやに乱れし初春の夜（蝶）

【写真は初春の尾久三業】

女体の詩人・大学

明治廿五年一月八日詩人堀口大学は東京に生れた、詩集『月光とピエロ』や『月下の一群』の作者が、今や芸術院会員の候補者に挙げられるようになったのは敗戦のお蔭で、父を外交官として青春を異国に送った彼の心は、情熱的なラテン気質に貫かれて、官能の歓びを謳って決して憚らなかった。

昭和初頭の雑誌『パンテオン』に寄せた『なまめかしき地震、震源地、美学の中心、性、やや急、初期微動、上下動、水平動、鼓動時間、ゆりかえし、死者、二』という単語を羅列した『地震』と題した詩はひどく詩壇を驚ろかせたが、ついで彼は艶詩集『ヴィナス生誕』を刊行して、ボードレールやヴェルレーヌ、さてはランボー、ラディゲ、アポリネールなどの袖の下販詩集の妙趣を教えてくれた。

『延びた身ぶりの、指先が、その貝一つを撫でゝいた、遠くで潮が鳴っていた、近い砂丘がうねってた…』戦後にも彼は前著を補訂して艶詩集『乳房』を上梓した。芸術院がこの二冊の艶詩集に文化功労年金でも与えると面白いのだが。（魅）

新春 悩まし記 吉原③

まず上乗の正月景氣
餅くう間もないと嬉しい悲鳴

〇…一と昔も前の年の始めだったら、紺屋高尾の浪花節の文句にでてくるような、純情な男が一生に一度でもいいから―とやってきたものだが、近頃の客は正月でも玉代をはずむどころか、ネギるだけネギって、そのうえ鏡台の中のものまで持って帰ろうとするんだからガッチリしてる、昔からみれば女の質も落ちたが、客の質だって落ちた、落ちだよ―と吉原に廿の年から卅数年も住んでいるという、女郎上りのポン引き婆さんがいまは昔の物語りといっている、どちらにしてもお遊びが三、四百円の通り相場になってるとすれば女も安くなったものだ

〇…観光バスからお上りさんの団体が、ゾロゾロ列を組んでやってくると、ネオンの灯りでとその観光バスと組んで、団体割引きの客を釣っている店もある、こんなのはどうせ通り一ぺんの客だから数でこなすという

追い羽子をついてる連中まで、門松の陰に身をかくしたり、店の中に飛込んだり、まさかこんなところで同じ郷里の者と顔を合すようなこともあるまいが、いまではそうすることが彼女らの習性になっているらしい、近ごろは観光バスの数もふえたので、営業妨害ものだ―と怒っている店主もいる　そうかと思う

ことから、女は着物も脱がずに次から次へとかたずけていくそうだ、この元旦は六区の流れの客が多く、大晦日の泊り客を送り出すあとから、お遊びお遊びで朝のゾウニが四時、五時になった、と大分景気のいい正月を迎えたようだ

〇…仲の景気もまア〳〵というところなら、この周辺にたむろするシロシロやシロクロの実演組も、この正月は書入れだそうで、四十組からあるといわれている中でも、稼ぎ組は一と晩で廿回から卅回と、まったく帯をしめる間もなく部屋から部屋をまわっているそうだ、また一人で演ずるお花ちゃん（花車）も、七ツ道具を小脇にかかえてカツラの日本髪を気にしながら、せかせかと倖竹をくぐって行く、とにかく同じ赤線でも伝統のある吉原に、この春から温泉が一つ加わったわけだから、『今年こそは！』と、どこの店主も鼻息が荒い

えと文　池田蘇夫

あすの運勢 ㊂
一月八日　高島象山

▲一月生―すべて静かに稼業を守り辛抱強く努力すれば無事なり交際注意▲二月生―人気もあり向う處順調に思う事叶う日新規発展はよし▲三月生―何事も他に心を動かす事なく旧態維持に努力するによし▲四月生―物事次第に好調にして利達あり改革異動はよし▲五月生―万事好調に進展し目的叶い利達発展あり▲六月生―稼業大事と保守的によし他動的の事は迷惑を招来し易い▲七月生―何事も自己信念を曲げず初一念を貫く可く努力すれば栄達あり▲八月生―内外融和し事前緩和し次第と向上し利達栄昌に赴くものなり▲九月生―すべて多角的に躍興し自ら方針を誤り失敗を招き易い身に心配あり▲十月生―万事に努力をなし苦労を耐えて辛抱して後に幸あり▲十一月生―慢心と剛情は失敗あり謙遜的に慎重にして無事なり▲十二月生―旧習に捉われ環境をかえり見ず失態を招く社交上に注意

54年の人氣女性
指名投票用紙

投票者住所氏名	人氣女性名
	―職業―

送先・中央区銀座二の五内外タイムス社指名投票係・〆切一月廿日

内外タイムス社

艶流世界譚
…（アメリカ）…

主人が会社の奨金出張で年末は帰らないというので、夫人は二人の子供へのプレゼントを、ウンとはずんでくれるようにサンタクロースに頼みました。それでXマスの夜もふけ、やって来たサンタさん、まんまと忍びこむと、こっそり夫人の部屋に入りこんで『どうだね、子供達は？』『え、まだおきてるのヨ』『そうか、じゃァひと休みして…』待つこと小一時間、再びのぞいてみると『早く来ないかな、サンタのお爺さん！』等とささやいていきます。どうにもてあましていましたがそこはやっぱり子供で、やがてぐっすり寝こんでしまい、あとはサンタさんと夫人の楽しい夢の天国！となりました。正月になって主人が帰ってくると子供達は飛びついて迎えにでていきなり申しました。

『パパ、去年のクリスマスにボクはこんな電気機関車もらったよ』『あたいは、こんなフランス人形…』『そう、よかったね…去年のサンタクロースは素敵だったねえ！』『そうよほかにはどこへも行かないで、うちへとまってしまったンだもン…ねえママのお部屋で…』

荻窪で一家七名焼死

母子三人抱合い窒息

家具店から出火 四名は辛うじて逃出す

まだトソの香もさめぬ松の内の七日未明、都内に一家七名が窒息焼死するという火災事件が発生した—七日午前二時半ごろ杉並区荻窪四の七五家具販売業永井増蔵さん（七〇）方階下から出火、同店舗兼住宅二階建一棟八十坪を全焼して同三時五分ごろ鎮火した、この火事で二階六畳間と八畳間に寝ていた増蔵さんと妻寿寿さん（六五）増蔵さんの五男敬一郎さん（三七）光子さん（三〇）夫婦と長男豊ちゃん（三つ）店員の酒井富男君（一七）馬場幸一君（二〇）の七人は煙にまかれ逃げ遅れて窒息の上焼死した、六畳間では光子さんが愛児の豊ちゃんをしっかりと抱いたまま焼死しているのが係官の涙をさそっていた、なお増蔵さんの六男清さん（三三）七男清充さん（三〇）女中福岡つよさん（三八）店員酒井増高さん（二二）の四人は出火とともに隣家の植職井口友吉さん（六七）が梯子をかけ助け出され危く難を免かれた、荻窪署で原因を調べているが、階下の火鉢の火の不始末からと見られている

一家七人焼死した荻窪の火災現場　圓内から焼死した永井増蔵さん、同妻壽壽さん、敬一郎さん、同妻光子さん、孫豊ちゃん

設計と環境の悪條件 惨事の原因

杉並区荻窪永井家具店の火災は焼失範囲からみると階下台所前の天井裏と、二階の居室四部屋全焼程度だったが、なぜ一家七人焼死という惨事をひき起こしたのだろうか—同家は間口七間、奥行八間の木造モルタル塗り二階建で、階下は店舗（四十五坪）と台所に使用、二階の十畳一間と六畳三間が寝起きする一室になっているが、惨事の最大の原因は家具類がギッシリ並べられた階下店内と二階の一室とを結ぶ通路は僅か幅三尺ぐらいの階段だけという点にあった、しかも二階は正面はガラス窓になっているが、ここは大きなトタンの看板でさえぎられ、隣家井口植木屋との間は狭い廊下に小窓があるだけという設計ならびに環境の悪条件が重なっていた

このため奥六畳で親子三人抱き合ったまま窒息死した五男敬一郎さん妻光子さんと愛児豊ちゃんはほとんど逃げる暇もなかった様子で、豊ちゃんを真ん中に苦悶の表情もなかった

十畳の間には増蔵さん、寿寿さんの老夫婦と店員馬場幸一君が半裸の姿で、また窓際の六畳の間には店員酒井富男君がネルの寝巻姿で今一歩で助かるところを窒息状態で絶命しているなど、現場は凄惨ななかにも涙を誘うものがあった

ハシゴで助かる 酒井さんの話

二階の奥六畳間に寝ていて危うく難を逃れた使用人酒井増高さん（二二）は荻窪署で恐怖の模様をつぎのように語った

ノドがつまり苦しくて目が覚めた、物すごい熱さと煙で十畳の間と六畳の間を行ったり来たり、無我夢中でいるうち窓から飛びおりようと思って廊下に出ようとしたが苦しくなって同室の酒井君といっしょにフトンの上にうつぶせてしまった、そのとき隣りの井口植木屋さんの方で『窓はこっちだこっちに来い』とどなる声が聞えた、酒井君をひっぱっていっしょに逃げようとしたが酒井君は苦しいのか、そのまま動かなかった、夢中で一人で飛びだし、窓のフチに手をかけ外にぶら下ったところをハシゴをかけてくれたのでようやく脱出できた、私が寝たのは午前零時ごろだったと思う、二階には置ゴタツは一つあっただけで火の気はほかになかったようだ、その置ゴタツを女中さん（福田ふくよさん）が始末するのを寝しなに見た記憶があるが、今はなにがなんだか考えがまとまらない

搭乗員は三名 けさ一名の死体發見 羽田沖の空中衝突

七日午前十時蒲田署羽田警備出張所から警視庁に入った報告によると六日夜羽田空港沖合上空で衝突墜落した飛行機は、米空軍T33ジェット練習機（搭乗員二名）とF86ジェット戦闘機（一名）で同朝九時半米軍ヘリコプターが空港B滑走路外れの水際付近で搭乗員一名の死体を発見収容した

なお残り二名については海上保安庁から港内艇〝むらくも〟〝やまぎく〟〝おとは〟〝しらうめ〟の四隻が出動、羽田空港沖、北々東から東京灯船付近まで半径五キロにわたり海上捜索を続行している

日比谷でタコ揚げ大会

『姉ちゃん、あんなに高く揚がった』とはしゃぐ子供たち、東京都主催『新年タコ揚げ大会』は七日朝十時から日比谷公園で都内の小学生数百名を集めて開かれた、正月らしいカラッ風に子供たちは大喜び…中には日本髪姿のお母さんに連れられて一緒に子供とタコ揚げ競争をする家族連れまでもあった、強風なので糸が切れて泣きベソをかく子供もあり賑やかな風景をえがいた【写真は日比谷のタコ揚げ大会】

ソ連へレスリング代表 外務省、初の旅券を交付 九日出発

ソ連レスリング協会の招待で訪ソする日本選手団小玉団長、笹原主将ら一行十三名に対し外務省は七日一般旅券を交付した、一行は九日午前七時四十五分羽田発エール・フランス機で出発する、これまでソ連行の旅券を正式に発給したのは今回が初めてである

きょうは藤沢へ 皇太子さまドライブ

【鎌倉発】葉山ご滞在中の皇太子さまは七日午前九時すぎ義宮さまを同伴され御自身で愛車プリンスを運転、御用邸を出られて鎌倉水族館を見学ののち海岸遊歩道路を通り藤沢に出て、十時頃葉山御用邸にお帰りになった

病苦から服毒自殺

六日夜十一時ごろ葛飾区柴又町二の一二四会社員長沢勇一さん長女とみ子さん（一七）はブロバリンを飲み自殺した、一年ほど肺病で寝ていたので病気を苦にしたものらしい

くちびる青し寒中水泳 けさ小松川で・救急車も待機

寒の入りとともに冷えこんだ七日午前十時から江戸川区主催の寒中水泳大会が小松川小橋上流で行われた、区民や同区体育関係者が参加、薄氷も張ろうという川を横断したり橋上飛込、珍らしい式泳などが行われ見ている方も寒くなる水泳大会だった、また水泳救助員協会員による溺者救助法の実演や水中御輿渡御があったが出演者はくちびるを青くして寒入り行さながらのていだった、日赤都支部では寒さで心臓麻痺でも起してはと救急車を待機させる始末だったがどうやら水中行事は無事に終った

グリントップ楽観を許さず 【中山四日目】

前半に六つの特別レースが行われたが本命馬が勝ったのは僅かにニューイヤーのトキノメイチのみ、まさに波乱の連続だったが、これは今週のレースでも覚悟しなくてはなるまい

△アラブ短距離特別（第九—千百米）特ハンでライトフリントを破ったグリントップは当時より一貫八キロの増だが、問題はこれをいかに克服するかにある、調子のよいときは影響の少ないものだけに一願手力に推されるが惨敗の恐れも多分にある、もし同馬が直線に汚けばその隙をつくものは特ハン四着のラントウであろう、この馬の61キロは既に経験ずみのものだけに不安はない、しかし同馬が有力視されるぐらいなら六次中山三日目の成績から見てダイヨンホウシュウの健闘も大いに可能、ミネザクラ、ミスカズオーも問題だがこの両馬では、堅実に走っているミスカズオーの方がよい、グリントップ、ラントウ、ダイヨンホウシュウの順、穴ミスカズオー

△一般レース予想 ①メイジヒカリ、カツタローの順穴イチモンジ ②トーヨーライト、レンドヒカリ、ヒデマルの順、穴カズヒカリ ③ローヤルパーク、トシミチ、ヤマフサの順、穴ダイイチヒガシヤマ ④キングスワロー、ハツリュウ、カネマサの順、穴サオトメ ⑤プレツシング、ミスアスター、ミノルメイジの順、穴ロングラン、⑥コマカゼ、スズカミ、ギンザオアシスの順、穴サンダーオー ⑦ラツキータカヨシ、パールクイン、カイシヨウの順、穴ショウエン ⑧サチアキ、パールハウス、ハチトモの順穴ハセガワ ⑩タカラオー、ダイニノブタカ、ミタカツの順、穴ヤマノマツ（松本彌一）

中華料理店燒く

六日夜十時十分ごろ墨田区寺島町八の一二三中華料理店美沢軒＝責任者高沢みねさん＝から出火、木造二階建二棟卅坪を全半焼した、原因調べ中

英からマルシアノに挑戦申込み

【ヨハネスブルグ六日発UP＝共同】目下ヨハネスブルグに滞在中の英国ボクシング・プロモーター界の大立物ジャック・ソロモンズ氏は世界ヘヴィ級チャンピオン、ロッキー・マルシアノのマネジャー、アル・ワイル氏あて卅万ドルの支払保障と四人分の飛行機賃提供を条件に四月下旬もしくは五月上旬にロンドンでドン・コッケルを相手にタイトル戦をやって欲しいと申入れたと発表した

【大宮】

新春の大宮競輪と平塚競輪が八日から同時に行われるいずれも人気選手が多数出場する

▽前節 優勝候補は渡部任、松本勇、武内景、中谷岩、阿部泰、遠山巌らの強豪連だがうち後楽園で見事な逃脚みせ優勝した阿部がすっかり気をよくしているので最有力一、二勝級はこのバンク馴れている安野勝、このところ不調だが實戦豊富な伊藤甫、矢口靖などB級では早川泰、大西昭、北村登、長妻寛らが活躍しよう

▽後節 正月にふさわしい好メンバーで、地元の高倉登を始め北海道のよい男秋元和、神奈川の雄小澤父、東京ボーイ田中博、羽島洋の御両人などが決勝目指そう、キレイナスピードをみせる田代順も元気なので組合如何によっては一勝は十分あるB級ではレース巧者の齋藤一を筆頭に長谷川正、川田一らが優勝圏

【平塚】

▽前節 ますますレースに円熟味をみせた豊田茂と徹底的に逃げを最大の武器とする吉野泰の対戦がみもの、これに次ぐのが地元の田中鉀、埼玉の後藤紳谷恵、鋭いダッシュの内海石、市村晶らまた往年の脚力ないとはいえレースの駆引達者な林常三が相當の食込みをみせるだろう、B級では田熊勉、福田郁、渡邊虎が有望

▽後節 好漢杉井正、渋い味の黒川浦、胸のすくスピードの佐藤武昌山晃らが優勝候補、最近脚力上昇その意気天をつく大野祐が大豪に体當りの挑戦は興味津々、B級では牛山明、青木高、一條繁、安部浩らが強い（画雷京一）

戸田競艇

第一回戸田ボートレース第一節は同競艇組合主催で八日から十二日まで開催される、優勝候補は市村武、渡邊哲、寺林成、植田安、清水幸、小林忠が有望、このほか竹田義、山下正、三矢貞、倉本義、若間幸、坂田保、原口勇、杉村繁、池田彪、興村良、佐藤裕の活躍が期待される、モーターでは

▽ヤマト＝勝率六〇・二パーセントのカワチを筆頭にイズ、サガミ、ボタン、フジ、カガ、アワ、キリが好調、このほかナガト、キク、ムサシ、サクラ、マツ、シナノの實力も見逃せない

▽キヌタ＝キソ、ヨシノ、ミカサ、ショマル、両神、ヨシノ、クモトリ、ミツミネ、ミョウギ、アサマ、イスズが好調、アマギ、ハルナ、モガミ、バンダイ、タカオ、クマノの展示に注意を要する（宗一男）

後楽園競輪最終日成績

◇第一B千二 ①大橋莊1分48秒1 ②矢口喜1/2身 ③落合安（單）1360圓（複）160圓130圓650圓（連）①—⑤5590圓

◇第二B千六 ①大橋正2分20秒2 ②藤 藤博1身 ③北 見富3身（單）100圓（複）100圓140圓120圓（連）④—②390圓

◇第三A千六 ①白子萬2分12秒0 ②關良一 微差 ③井上 俊1身（單）2280圓（複）470圓170圓830圓（連）⑥—⑤3770圓

少年殺しの工員自首

五日夜葛飾区下千葉四六九先で北区上十条二の一七増田勝義さん（一九）を口論のすえ短刀で刺殺逃走していた犯人葛飾区堀切町九三五印刷工須藤正夫（二二）は亀有署から指名手配中であったが、六日夜六時ごろ同署に自首して出た

須藤は事件当夜増田さんが自分の情婦と睦まじく歩いているのを見てカッとなったと自供した

迷路ガイド 解答 西島実

問 廿九歳、三児の母親ですがホルモン不足のためか月経が不順で二ヵ月に一度ぐらいのこともあります、量は相当多量です、避妊はしてはいるものの正確には実行できず、今月も無月経です、この月経不順により妊娠したのか或は病気なのかわからなくなることがしばしばあります、それから人によっては黄体ホルモンの注射によって人工流産できるということを聞きましたが、どんな体質の人でしょうか、かりに妊娠したものが注射し人工流産しなかった場合も別に害はないものでしょうか、お教え下さいませ（神奈川県横浜市・K子）

最寄の保健所へ 妊娠の診断・尿の検査が確実

答 ウサギによるフリードマン法の尿検査はどこでも行っていますから最寄りの保健所へ早朝の尿を試験管に七、八分ぐらい取って持っていけば三日間ぐらいで結果は判ります、一般の婦人科ですと個人ではやっていませんので尿を取って大学病院にも送ることになるから直接保健所へ行った方が宜しいでしょう、普通ははっきりした月経がありき婦人科的診察では判らないときにはじめてこの方法を用いるものですあなたのように月経不順だけでは行いません、費用は五百円ぐらいです

次に黄体ホルモンはいわゆる流産予防注射であり、原則として出血を阻止するのですから中絶できません、最後の質問は無害です

椅子で殴られ重傷 飲屋で相客同士の喧嘩

六日夜十時ごろ新宿区[illegible]町二二飲食店『ますや』経営者高橋忠幸さん方で酒を飲んでいた豊島区長崎二の四会社員藤町貞助さん（三一）は隣りで飲んでいた卅歳ぐらい五尺三、四寸、ジャンパーを着た運転手風の男とささいなことから口論となり、男はそばにあった椅子で藤町さんの頭を殴り全治三週間の傷を負わせ、外に停めてあった自動車で逃走した、届出により神楽坂署では悪質タクシー運転者の仕業とみて捜査中

初撮り初笑い 有馬稲子 ⑥

ニュッとグロ人形 開けてビックリ玉手箱

○…『きょうは七草だがネコちゃん七草を全部いえる?』ってきいたら彼女はポーッと顔を赤らめた、話の泉の古狸（失言）先生方ならいざ知らず漸く蕾から抜け出たばかり、廿二のネコちゃんにこんな難題をきく方がドダイ無茶というもの—それでも、なずな、はこべ、せり、あお、みんな私好きよ…と四種類は軽く答えた、廿代としては先ず及第の部類に属する、あとの三つは御形、すずしろ、仏の座なのでちょいと無理かも知れない

○…『私幼い時、朝鮮で育ったでしょう、だから七草といってもあまりピンとこなかったけど、お母さんと内地に引揚げてきてからは七草粥の味がだんだんわかるようになりました…』口だけかも知れないが、ともかく彼女はそうおっしゃる

○…引揚げ後は大阪夕陽ヶ丘高女を卒業、宝塚に入った、売りだしたのは『ひまわり娘』続いて『私のすべて』『川のある下町の話』でますます演技を買われ今年は最良の年にしたいというのがネコちゃんの膨らんだ希望らしい、日劇の楽屋を訪れ意地悪と思ったが、妙なビックリ箱を示し『これあけて御覧なさい、あなたの希望が出ますよ…』といったら、ネコちゃんは本気になって開けたトタン…『まあ、妙チクリンなもの…』とクスクス笑った

独眼灯

○…世界一デッカイお寿司が二つ店頭にデンと並んで道行く人の目を見張らせた、これは大福餅の食べくらべで有名な浅草田原町のY食堂が初春縁起でつくったもの

○…普通のお寿司に換算すると一万個、千人分で、目方がナンと七十貫、使った米が八斗、長さ三尺、幅二尺二寸、厚さ一尺九寸、上にのったマグロの厚さが二寸で五貫匁、コハダは二百五十四で五千枚という超ド級、ゆうべ十二時から職人六人が徹夜で作りはじめてけさ十時にやっと出来上った

○…これを百人で卅分以内に食ったら無料、食べそこなったら十万円申し受けますという人を食った口上書、このたべ競争の団体申込みは廿日に締切るそうだが、さて申込むツワモノがあるかどうか【写真はオバケ寿司】